

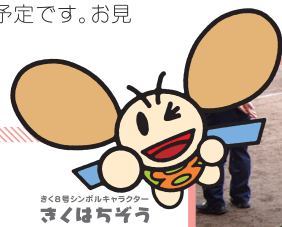
HOT TOPICS

01 『だいちの夏休み'07』 —衛星画像で自由研究—

夏休みの自由研究のために、いろいろな学習サイトや本を参考にして仕上げた人も多かったはず…。2007年8月、JAXA宇宙利用推進本部では、陸域観測技術衛星「だいち」が撮影した画像を使って、夏休みの自由研究ができるサイトを公開していました。この期間限定の貴重なサイトで、自由研究にチャレンジしたきみは、超ラッキー!『だいちの夏休み'07』では、最新の「だいち」の観測画像をグーグルアースで使いこなせるよう、わかりやすく紹介していました。たとえば、10年前の画像といまの画像を比較して、どこがどのように変わったかがわかったり、旅行にいった場所をみつけたり・・・と自由研究にピッタリのサイトでした。これからも、「だいち」の観測画像を使って自由に研究できるサイトを公開していく予定です。お見逃しなく!



衛星画像について、だいちくんがわかりやすくナビゲート。「楽しくて、勉強になる」と好評でした。



02 9/1「防災の日」 技術試験衛星Ⅷ型 「きく8号」が通信実験を実施

2007年9月1日(土)「防災の日」、東京都と昭島市、福生市、武蔵村山市、羽村市、瑞穂町の4市1町が合同で行った総合防災訓練に参加し、技術試験衛星Ⅷ型「きく8号」の通信実験を行いました。防災訓練では、バイクに乗って安否確認を行なう調査員が、道路状況、土砂崩れ、火災発生、負傷者数の情報を「きく8号」を介して対策本部へ送信し、迅速な被害状況の把握に努めました。また、救出・救護訓練の様子をウェアラブルカメラを装着した調査員が撮影して、映像を「きく8号」を介して対策本部へ送信す



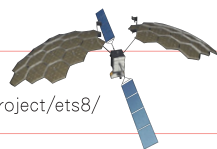
調査員による安否確認情報は「きく8号」を介して対策本部へ。



本部では、調査員からの情報を「きく8号」経由で受け取り、総合します。右はウェアラブルカメラで被災地の状況把握を担当する調査員。

るなどを行ないました。今後も、「きく8号」の技術が災害時も私たちの暮らしに役立つように、着々と実験を重ねていきます。

くわしくは
<http://www.satnavi.jaxa.jp/project/ets8/>



衛星の名前ってどうやって決まっているの?

人工衛星の名前は、ロケットから宇宙へ旅立って自分の仕事場(軌道)で花が開くようにとの願いを込め、花の名前がよくつけられてきました。最近は愛称募集を行うことが多いのですが、みなさんからは人工衛星の特徴をよく表した愛称をご応募いただいています。

きく (ETS)
1975年9月9日打ち上げの技術試験衛星(ETS-I)には、重陽(ちようよう)の節句を記念して「きく」という愛称をつけました。

おりひめ・ひこぼし (ETS-VII)
ランデブー・ドッキングと7月7日(七夕)に天の川で会う「おりひめ・ひこぼし」を重ね合わせた名前です。

こだま (DRTS)
低・中軌道の衛星と地上の間でデータの中継する人工衛星。山や谷で音が反射して届く様子を「こだま」といいますね。

だいち (ALOS)
地球の大地を観測して地図をつつたり、災害の状況を把握したり、資源探査をお手伝いする人工衛星。



超高速インターネット衛星 WINDS、愛称決定!

2007年6月26日～8月26日、2007年度冬期打上げ予定の超高速インターネット衛星WINDS(ウィンズ)の愛称募集を行ないました。期間中の応募総数は、なんと9,657件!ホームページやはがき、夏休み期間中の各イベントを通じて、たくさんの皆さんにご応募いただきました。その中からWINDSの愛称は、452名の方にご応募いただいた「きずな」に決定!人と人をつなぐ「絆」となしてほしいという皆さんからの強い期待が込められています。

シンボルキャラクターは、「きずなちゃん」



きずな(WINDS)プロジェクトマネージャ
中村安雄



WINDSは、今年はじめから続いていた一連のシステム試験が無事終了し、まもなく種子島への輸送が行なわれます。その後、射場での最終的なチェックを行ない、いよいよ宇宙へ旅立ちます。このような時期にWINDSは、愛称募集に参加いただいた多くの方々のご応募の中から、「きずな」という愛称をつけていただきました。WINDSの持つ高速通信能力が、人と人、社会と社会を結ぶ強い「きずな」になってほしいという皆さんの大きな期待が感じられる大変素晴らしい名前だと思っています。その期待に応えられるよう、打上げの成功に向けて、関係者一丸となって力をあわせ作業を進めてまいります。今後とも「きずな(WINDS)」に熱い応援をお願いします。